

近接領域の視座に学ぶスクールソーシャルワーク ～理論と研究に裏付けられた実践の発展を目指して～

第1部

学術講演会

13:30～15:30

「教育社会学の視点でとらえる
長期欠席・不登校問題」

講師 **酒井 朗** 先生

上智大学総合人間科学部教育学科 教授

不登校・長期欠席の問題を、調査データをもとに教育社会学の視点で多角的に分析すると同時に、問題解決に向けて学校臨床社会学を提起します。

講師プロフィール

専門分野：教育社会学、教育臨床社会学、学校社会学
最近の研究テーマ：教育における社会的排除と包摂に関する研究、児童・生徒の移行の危機への支援に関する研究など



社会貢献：中央教育審議会初等中等教育部会教員養成部会臨時委員、東京都不登校・中途退学対策検討委員会委員など

主な著書・論文：『教育臨床社会学の可能性』勁草書房 2014、「教育方法からみた幼児教育と小学校教育の連携の課題」『教育学研究』2014 など

日時 **2017年2月11日(土・祝) 13:30～17:00 (受付13:00～)**

会場

電気通信大学 東3号館301教室

東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 (調布駅より徒歩7分)

第2部

研究成果報告会

15:45～17:00

「スクールソーシャルワーカーの
スタンダード ～全米版翻訳
から日本版作成へ～」

報告者 **馬場 幸子** 先生

東京学芸大学総合教育科学系生活科学講座
准教授

アメリカのスクールソーシャルワーカーが固く守るよう教育され、実践の拠り所としている「スタンダード」。その日本版作成の研究成果を報告します。

報告者プロフィール

専門分野：子ども家庭福祉、
スクールソーシャルワーク
最近の研究テーマ：日本版スクールソーシャルワーク実践スタンダードの開発的研究



社会貢献：小金井市SSW活用事業スーパーバイザー、小金井市子ども家庭支援センター運営協議会会長など
主要な著書・論文：『School Social Work: National Perspectives on Practice in Schools』Oxford University Press 2016 (共著)、『学校現場で役立つ「問題解決型ケース会議」活用ハンドブック』明石書店、2013 など

【対象】 スクールソーシャルワーカー、学校・教育委員会関係者、教育・研究者、その他関連職種の方

【参加費】 学会員：無料 / 非会員：500円 (資料代/当日徴収)

【申込み】 電子メールで受け付けます。件名に「2/11申込み」、本文に所属、氏名、連絡先を記入の上、jsssw.kanto@gmail.com まで送信ください。

主催 日本学校ソーシャルワーク学会 関東・甲信越ブロック運営委員会 (運営委員長 大崎 広行)